

新年会(1月19日)に多数参加を！ 2大音楽イベント



黒坂黒太郎さんのコカリナ演奏

「アンサンブルステラ」の男声合唱も

新年おめでとうございます。関東同窓会は1月19日(木)に千代田区一ツ橋の日本教育会館で新年会を開催します。今年のイベントは黒坂黒太郎さん(66期)のコカリナ演奏と、倉島彰さん(54期)らが参加する「アンサンブル・ステラ」の男声合唱です。

「コカリナ」という楽器をご存知ですか。黒坂黒太郎(本名は正文)さんはコカリナを日本に広げた第一人者。「桜の木のコカリナ」と呼ばれるハンガリーの民族楽器でしたが、黒坂さんが日本で改良を加え、「コカリナ」と命名したそうです。

東日本大震災発生後は、全国100カ所を目標に支援コンサートを展開中。被災した松の西東京市に基盤を置く男声合唱団。団員の年齢層は高く、平均年齢は70歳を超えています。この合唱団には上田高校出身者5人(倉島彰、小宮山忠彦、土屋勉、三井文人、山浦直次郎各氏)が所属しています。

【日時】 1月19日(木)
18:00 受付開始
18:30 開会(コカリナ演奏会)
19:20 懇親会
【会場】 千代田区一ツ橋 2-6-2
日本教育会館9階 喜山倶楽部
TEL: 03-3262-7661
【会費】 5,000円

- 地下鉄新宿線、半蔵門線、三田線
神保町駅下車徒歩 3-5分
- 地下鉄東西線
竹橋駅下車徒歩 5分



IT委員会が発足 ネット活用の強化探る

インターネットの発達に伴い、関東同窓会はこれまで、会報発行以外にホームページの立ち上げ、Eメールの活用による情報提供・共有などを実施してきました。7月に就任した滝澤進新会長は「上田をはじめ故郷についての情報発信基地」として同窓会を充実させていく目標を掲げ、ITをいっそう活用する方針を打ち出しました。

これを受け、早速メンバーを選定し「IT企画運営委員会」(略称IT委員会)を立ち上げました。具体的内容の詰めはこれからですが、基本的方針は次の通りです。現行のホームページを見直し、同窓生の皆さんが自ら見たいと思う内容にします。そのため、情報の新鮮さ、映像・画像などの多用を検討します。現在、世の中に拡がりつつあるSNS、フェイスブック、ツイッター、Eメールなどをホームページや会報と結びつける方法を探ります。ホームページの運営体制も見直し、同窓会運営とのより一体化を目指します。

当面は、できることから実施していく予定です。同窓会ホームページは下記URLでご覧いただけますので、会員の皆さまからぜひ、ご意見をお聞かせください。

IT企画運営委員長
笠井徳爾(61期)

同窓会をより身近な存在に

関東同窓会会長 滝澤 進 (61期)



6月に関東同窓会の会長に就任してから半年が経過いたしました。この間、当会の活動がいかに

多くの皆さまの力によって支えられているか、また、同窓生の母校に対する思いがいかに熱いものであるかを強く実感いたしました。3月の東日本大震災を契機に、われわれはあらためて自分自身の生き方、社会とのかかわり方を問い直す必要に迫られました。関東

同窓会の総会にもかつてないほど

多くの皆さまにご出席いただき、皆さまの「絆」としての役割を果たせるよう、また「より身近な存在」として実感していただけるものとなるよう、全力を尽くしてまいります。

こうした考え方から、10月にI

T企画運営委員会がスタートいたしました。現在、役員の方々から出していたいただいた提案をもとに、様々な魅力的なプロジェクトを立ち上げるための準備を進めております。

本年が良い年となりますよう心から祈念申し上げます。

相談役・顧問の新陣容

7月3日に開かれた関東同窓会総会で、新相談役に白井透氏、新顧問に宮坂幸雄、寺島知恵子、有賀勝雄、鷹野芳機、笠井徳爾の各氏が選出されました。相談役・顧問の新陣容は下記の通りです。

| 相談役 | 顧問 |
|--------------|---------------|
| 横山誠之助 (42期) | 中村 禮三 (32期) |
| 柳澤 廣 (44-5期) | 森 浩一 (52期) |
| 山崎 延秋 (48期) | 堀内 忠久 (53期) |
| 甕 滋 (50期) | 馬場 武彦 (54期) |
| 丸山 瑛一 (51期) | 宮島 光男 (55期) |
| 石井 光春 (54期) | 成田 邦夫 (56期) |
| 前田喜美子 (54期) | 宮坂 幸雄 (57期) * |
| 白井 透 (60期) | 寺島知恵子 (58期) * |
| | 有賀 勝雄 (59期) * |
| | 鷹野 芳機 (60期) * |
| | 笠井 徳爾 (61期) * |

*印は任期6年

事務局日誌より

(2011年5月~11月)

同窓会の舞台裏を支える事務局は絶えまぬ活動を続けております。今回はその一端を紹介し、皆様が同窓会活動へのご理解を深める一助ともなれと思います。

幹事長 栗山正雄(62期)

【5月】

会報発送(下旬)

東信同窓連總會(29日)

▼会報発送に向け、連休中の編集、続いて校正、発送リスト(約6000人)の作成を行う。発送後の不達者約100人に、直接の電話、期幹事を通して調査など。

▼長野県の高校在京同窓会連合

会傘下の東信同窓連合は現在幹事長の栗山が務めており、同時に県連副会長として主に会報発行を担当している。総会(7月2日)時の会報発行に向け他理事校の協力の下、編集作業、東信地区総会に向け配布資料作成を行なった。

【6月】

相談役顧問会(23日)

▼相談役顧問会の実施に向け、案内の発送、出欠の確認、説明資料の作成。当日丸山相談役から提案の「歴史上の著名人物」の会報連載を実現させる方向で検討。

【7月~11月】

第50回総会(7月3日)

総会実行委員会反省会(7月21日)
新旧役員引き継ぎ会(7月28日)
第2回幹事会(9月27日)
第1回I-T企画運営委員会(10月14日)
役員会(11月1日)

▼実行委員会とともに総会のシナリオ作成、会場準備、配布資料などの作成、招待状発送を行った。総会記念品「会報CD」を約250ケース準備した。なお、総会後、元会長など約100人の会報発行関係者に記念CDを贈呈。物故会長のご遺族3方から丁寧な御礼状をいただき、先達の熱い思いに触れた感じがした。他に有料配布10件。

▼返信されたはがき(約600通)、郵便振替(約450件)と総会受付票から、住所、年会費などを会員原簿へ反映。誤りは許されないもので、極めて神経を使う。

▼役員交代ではセレモニー性の演出に気を使う。新役員用の説明資料を準備。推進テーマを提案するよう会長から全役員に要請があり、9月末にとりまとめ、役員会に向け整理した。

▼事務所の備え付けテレビをデジタルに対応させるため更改した。新テレビは国内S社製の19型液晶で、幹事長からの寄贈。

思いやりを形に。

東京・神奈川を中心とした不動産賃貸管理



Powers Group

管理戸数 6,500戸
入居稼働率 97%の実績

株式会社パワーズアンリミテッド

〒162-0066 東京都新宿区市谷台町 8-8
TEL 03-6821-8588 FAX 03-3356-2288
http://www.powersunlimited.co.jp

天然酵母田舎パンの店

ルヴァン Levain

ふるさとへ帰って来たら
ぜひ立ち寄ってください

オーナー 甲田 幹夫 (65期)

富ヶ谷店: 渋谷区富ヶ谷 2-43-13 TEL 03-3468-9669
信州上田店: 上田市中央 4-7-31 TEL 0268-26-3866



Pain Campagnard Français
à la Farine de blé Japonais
et au Levain naturel.
Goût rustique.





第50回総会に264人

「はやぶさ」の堀内康男氏が講演

母校室内楽班の演奏も

関東同窓会の総会が7月3日、東京・千代田区の如水会館で開かれた。今年は節目の第50回総会とあつて264人も同窓生が集まり、近年まれに見る大盛況となつた。

講演会では、小惑星探査機「は



講演する堀内康男氏



「はやぶさ」の講演には立ち見も

やぶさ」のイオンエンジン開発に携わつた堀内康男さん(81期)が、新エンジン開発の苦労話や今後の技術継承について、分かりやすく解説。タイムリーな話題で会場は満員となり、約20人が立つて聴くほどだった。

総会では、滝澤進さん(61期)を新会長とする第17代執行部の役員を選出。新会長は「諸先輩が築いた伝統を守り、同窓会がより会員の身近なものになるよう尽力します」とあいさつした。

このあと隣のホールで開かれた



母校室内楽班の演奏

懇親会では、顧問の長谷川和生先生(64期)の指揮で、母校室内楽班がパッヘルベルの「カノン」、ブラームスの「ハンガリー舞曲第5番」など6曲を演奏。さらに室内楽班の伴奏で、「ふるさと」と「校歌」を全員で歌い、大いに盛り上がった。



あいさつする100期以降の若者たち



懇談する堀内康男氏の同期生ら

和気あいあいの関西同窓会

講演は松井京大教授(66期)の「カエルあれこれ」

9月3日に大阪マルビル大阪第一ホテルで開かれた関西同窓会総会に滝澤進会長とともに出席した。ちょうど台風12号が近畿地方に上陸中だったが、会場周辺には大きな被害はなく、総会は予定通り開催。来賓を含め55人が参加した。

総会後の講演会では、京都大学の松井正文教授(66期)が「カエルあれこれ」と題して講演。故郷上田のカエルを手始めに世界中の珍しいカエルを、スライドを使って熱心に紹介した。あだ名が「ガマガエル」というだけあつて、カエルを愛する教授の気持ちがひしひしと伝わってきた。

懇親会では、滝澤会長が関東同窓会の活動などを紹介したほか、母校の小林一雄校長、本部の日置勇二理事長らがあいさつ。その後、各期の代表らが次々と登壇し、ユーモアを交えて近況などを話した。関東同窓会と違って参加者が少ないため、全員が丸テーブルに座つて談笑。和気あいあいの会場の大阪駅周辺は私にとって懐かしい場所。通信社の駆け出し記者時代、駅近くの曾根崎警察署内の記者クラブを拠点に「サツまわり」をしていた。

だが、ほぼ40年ぶりに訪れた駅周辺は再開発され、高層ビルが林立。かつて毎日歩いていた梅田地下街では、道に迷ってしまった。

真山隆夫(62期)



懇親会であいさつする滝澤関東同窓会会長

上田ゆかりの偉人

幕末の先覚者 赤松小三郎

丸山瑛一（51期）



伊東邦夫氏提供

のを恐れた薩摩藩の密命により慶応3年（1867年）、京都で薩摩藩士によって白昼、斬殺されま

す。37歳でした。

幕末に彗星のように出現し、そして消えた若き先覚者、赤松小三郎。

明治政府発足の大方針とされた「五箇条の御誓文」は坂本龍馬の「船中八策」を土台にして福井藩士の由利公正が原文を起草し、木戸孝允らが加筆したと言われます。

坂本龍馬は「八策」の中で「上下議政局」という表現で二院制議会を提言していますが、これはもと若き洋学者である上田藩士赤松小三郎が徳川幕府の重鎮である福井藩主の松平春嶽に当てた建白書で用いた表現です。

小三郎は日本で初めて民主的議会政治を提案した先覚者ですが、門弟800人と言われた小三郎の英国式兵学知識が幕府側に伝わる

なぜか赤松小三郎の名は維新史

の中で抹殺され、近年に至るまで、上田市民の中でも知る人は多くありません。上田では赤松小三郎顕彰会が地道に活動を続けており、昨年、歴史小説家の江宮隆之氏が「龍馬の影―悲劇の志士・赤松小三郎」を出版したことで、にわか注目を集めるようになりま

した。私は常磐城の生家の蔵を顕彰会に提供し、初めて上田に赤松小三郎記念館を開設していただくことにしました。ここには京都の金戒光明寺から小三郎の墓石を移設して、関連資料が展示される計画です。これを機会に多くの方が上田の生んだ偉人、赤松小三郎への認識を深め、郷土の誇りにしていただくよう願っています。

上田の丸山邸土蔵 全焼



炎上する丸山邸土蔵（信濃毎日新聞より）

11月8日未明、上田市の旧北国街道沿いにある明治建築の屋敷「丸山邸」から出火し、2階建ての土蔵を全焼、隣にある2階建て母屋を半焼しました。ここは丸山瑛一、関東同窓会相談役の実家。2002年に山田洋次監督の映画「たそがれ清兵衛」のロケ地となったことでも有名です。

丸山邸を観光拠点とする事業の一環として、NPO法人「信州上田文化デザイン研究会」がこの土蔵に茶屋や資料館などを設けてオープンする矢先の火災でした。

赤松小三郎記念館に予定していた別の土蔵は類焼を免れ、時期は遅れるものの計画通り開館する予定です。丸山相談役には、心からお見舞い申し上げます。

初めて総会に参加して



甲田英里子（107期）

した。世界で活躍されている先輩のお話を聞き、尊敬の念を抱くと同時に、自分ももつと努力・経験を積んで、母校の名に恥じない働きをしたいと感じました。

講演の後は室内楽班の演奏を聴きました。演奏者の中に在学時にお世話になった先生の姿がみられ、数年ぶりにお話することができました。知っている方にお会いできて緊張がほぐれました。

総会では小惑星探査機「はやぶさ」のエンジン開発に携わった堀内康男さんの講演を聞きま

ていた弓道班の先輩をはじめ、たくさん先輩方とお話しました。緊張しっぱなしでうまくしゃべれないこともありましたが、様々な職業・立場の方のお話が聞けて世界が広まったように思います。とても充実した時間でした。

ただ、100期以降の参加者は4人、同期は私だけと同世代の出席者が少なく、心細さも感じました。初めは気後れするかもしれませんが、誘い合って参加したらきっと良い経験になると思います。私はこれからも大学を卒業するまで、もちろん卒業後も関東にいれば、時間さえあれば参加させていただきます。その際は皆さま、よろしくお願いたします。



真田父子たたえる漢詩碑

上田中学元教諭と教え子らが建立

上田城址

土屋竹雨 門人笠井南村筆

英雄父子據孤城 英雄の父子孤城に據る
曾扼関東十萬兵 曾て扼す関東十萬の兵
故国蒿萊刺樓櫓 故国蒿萊樓櫓を刺し
乱山如戟勢崢嶸 乱山戟の如く勢崢嶸

泉鶴岡市の出身。東京大学に学び、当時の漢詩界における第一人者として活躍した人です。後に大東文化大学の初代学長として多くの門下生を世に送り出しました。詩碑の揮毫者、笠井南

上田城址公園入り口の二の丸橋の右横に、真田昌幸、幸村父子をたたえた漢詩碑が建っているのをご存知ですか。この碑の建立には3人の漢詩人（師とその弟子）が関係しているのです、私の知っていることを記してみました。

村氏は土屋氏の高弟の1人で、山梨県出身。上田中学の元教諭です。号の「南村」は当時の漢詩壇の大家、土屋竹雨、服部空谷両師から、陶淵明が住んでいた「南村」という地にちなんで付けてもらったそうです。第一級の漢詩人で、私が上田中学に入学したころ、漢文を教えていました。独特な教え方で「読書百遍、意おのずから通ず」と言い、暗唱するくらい何遍も読むことが肝要だと教えられました。先生も大きな声で朗々と読まれたことを今でもよく覚えています。当時は多分、25か26歳で、上田中学教諭の期間は長くなかったと記憶しています。その後、大東文化大学の教授を務め、土屋竹雨氏の後継者の道を歩まれました。晩年は官立大学の教授に推薦され



土屋竹雨の漢詩碑「上田城址」

たにもかかわらず、「私には甲州の山と、村の酒があればいい」と言って、山梨県の高校教師として東京を去っていったそうです。そして漢詩碑建立に当たり、寄付を募り、宣伝文などを作成したのが、私と同じ41期生の細川雨村（本名武敏氏）です。上田中学時代、笠井南村氏から論語や孟子の講義を受け、大東文化大学卒業後、漢文の教師を長年続けた後、漢詩の私塾を開いて活躍されました。このように、この漢詩碑は3代にわたる師匠とその弟子によつて

真田氏ゆかりの砥石城を訪ねて

完成されたものです。残念ながら細川氏は6月11日に亡くなりました。ここに彼の辞世の詩を披露して、冥福をお祈りします。追妻我亦赴黄泉 来世相逢極楽天 池畔蓮花清麗処 再傾祝酒披婚筵 彼は愛妻に先立たれていました。前記のような辞世の詩を作りました。あの世で再び会ったとき、池の蓮の花が咲くところで再び祝杯を挙げようという意味です。宮下俊夫（41期）



米山城の登城道入り口

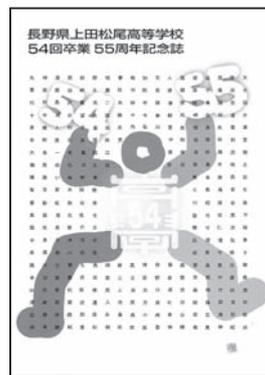
昨秋、埼玉から日帰りで「信玄の砥石崩れ」で有名な、また最近ではアニメ映画「サマウウォーズ」でも話題になった砥石城を訪ねて

砥石城は米山城・砥石城・本城・柃形城の城郭群からなり総延長は約4キロ。北に太郎山を背負い、東側は神川の断崖に臨み、東太郎山の支脈が南方に突き出た先端に築かれた要害堅固な山城跡である。歴史的に有名なのは何と言つても1550年、武田信玄が当時村上義清の属城であったこの城を落とせずに撤退を開始した時に、北信濃から追いついた村上軍の激しい追撃により、しんがり軍の横田高松ら将兵1000人余が戦死した「砥石崩れ」である。信玄の人生最大の敗北とも言われる。とこ

ろが、翌年、当時武田の信濃先方衆である真田幸隆が調略により乗っ取ったことでも有名である。以降、砥石城は1622年に真田信之が松代転封に際し廃城とするまで真田氏が支配することになる。その間、1583年に真田昌幸が上田城築城を開始し本拠を移した後は、上田城の背後の固めとして重要視された。特に第1次上田合戦（1585年）では、真田信幸が砥石城を準備、徳川軍をおびき出すのに一役買った。第2次上田合戦（1600年）では、真田幸村が砥石城に入つたが、東軍に付いた兄信幸との争いを避けて無血開城し、砥石城は信幸が占拠した。そんな真田三代ゆかりの城跡を訪ねた10月1日は奇しくも461年前の「砥石崩れ」の日であった。当時もこんな澄んだ秋空であったのだろうかと思いを馳せながら、米山城のふもとの登城道入口（写真）から登った。米山城から砥石城への道は結構険しいので最低スニーカーは必要。汗だくになってたどり着いた砥石城から上田盆地を眺めていると、ひと時ではあるが一国の城主になった気分がした。今回は息子幸村と訪れたいものだ。荻原 貴（79期）

今もやっぱりドテガラス

五四期会55周年大会に102人参加



晩秋の10月26日、軽井沢エクスプにおいて五四期会卒業55周年記念大会が開かれた。大会には会員94人（うち女性5人）と同伴者8人の計102人が参集した。

第1部の総会は元有名ホテル総支配人の中村忠勝総合司会者が執り仕切って、まず66人の物故者への黙とうを行い、続いて校歌の斉



第2部は音楽通の倉島彰司会者にバトンタッチされ、女性4人による「ラ・メールサクソフォンカルテット」の公演。「日本の名曲から」で始まって「世界の名曲から」「みんなで歌いましょう」

まで1時間たっぷりの演奏に、会場の諸兄姉は感涙も拭わず、ただその心地よさに酔いしれるばかりであった。

佐藤圭司五四期会初代会長の乾杯音頭で第3部の祝宴が始まった。宴会司会は得意即妙の市河富弘兄と決まっている。55年ぶりの初参加者を先ず紹介、美術、英語運動など所属班別の登壇や、石井光春兄のハーモニカ演奏の趣向もあつて、あつという間に2時間が過ぎた。祝宴の締めは凱歌斉唱と倉澤新会長の一本締めが見事に決まって、めでたくお開きとなった。

55年の間に積もった話はそう簡単に終わらない。ホテルのロビーで酒杯を重ねて語り合う者、部屋で旧交を温める者。かと思えば、翌日のゴルフコンペの栄冠を期して早寝する者。かつてのドテガラスどもは、ちつとも変わつちやいない。

翌朝、別れを惜しみ再会を約して三々五々家路についた。

末筆になつたが、記念大会開催のための諸事全般を担ってくれた事務局、並びに大会当日、参加者全員に配布された投稿者116人に及ぶ125ページ建ての立派な記念誌を仕上げてくれた編集委員諸兄に深甚なる謝辞を表する。

沓掛文哉(54期)

61期が同期会

8年ぶり開催、44人参加

61期は10月30日、同期会を開催した。会場は池田稔氏のつてをもつて品川プリンスメインタワー10階。卒業後48年、前回の開催から8年。出席は前回と同じ44人。入学者は426人だから1割以上の出席率だ。三井文人代表幹事の後、各組ごとにあいさつ。2組の「担任は数学のK先生。3年間バカにされたので、同窓会にも出て来られなかった」という冗談に、みんな納得顔でK先生をしのぶ。5組が「僕らの担任は英語とドイツ語のO先生。みんな内気なもので」ともじもじすると大笑い。O先生のはにかんだ笑顔が浮かぶ。

つけ場どつた魚、スキー場に行くといふ山菜、1時間に1本あるかないかのバス通いなど、ふるさとの思い出とともに多かつた話は最後の正しい過ぎ方。「妻の言うことには絶対逆らわない」「簡単な手料理はつくれるよう自立すること」。

榎原邦雄氏の「長寿の秘訣は病気になるらないこと」も、病気になるための食事に造詣の深い榎原氏のコメントだけに含蓄があつた。「同級会、お前いくつと友に聞き」という句も紹介されて、みんな大笑い。

最後に麦島(旧姓森川)和子さんの指揮で校歌を合唱、同期の滝澤進関東同窓会会長を支えていくことを確認して散会した。

上田、長野、松本、佐久など遠方から来てくれた友と、各クラス幹事に感謝。

井上 剛(61期)





韓国縦断世界遺産巡り

アクシデント続きの62期親睦旅行

恒例となった62期の親睦旅行は今年で5回目。今回は9月9日から4日間の韓国縦断の旅。釜山からソウルまでバスで行く世界遺産巡りツアーには、夫人7人を含む計22人が参加した。

日本航空で釜山の金海空港に着。市内の龍頭山公園、国際市場を見学した後、慶州へ向かう。韓国は明日からお盆だそうで、すでに釜山近郊は道路が渋滞。時間の関係で1日目の慶州は天馬塚（古墳）だけ見学し、夕刻、ホテルにチェックインした。



ソウル市内の昌徳宮で記念撮影

余。この観光ポイントは白馬江の船下り。夏に天竜川で転覆事故があったので少し心配していたが、川幅は広く水深もあり、船もかなり大型。心配は全くの杞憂だった。この日は大田に宿泊。3日目は世界遺産の水原城見学へ。雨は降っていたが、現地に着くと小降りになり、なんとか見学できた。この後、最終目的地のソウルに入り、昌徳宮を見学し、東京・原宿のような街、仁寺洞を散策した。

2日目はあいにく朝から雨模様。珍しく朝鮮半島に向かつて台風が移動している。世界遺産の石窟庵に着くと雨はさらに強まり、強風のため現場まで傘を差して歩いていくのは無理と判断。残念ながら、こと仏国寺の見学は断念し、代わりに慶州博物館を見学した。この後バスで北上し、海印寺に着いた時、雨は上がっていた。やはり世界遺産だけあって、すべてが素晴らしい。

最終日の9月12日は、ソウルの清溪川公園、青瓦台を観光して仁川空港へ。午後1時35分発のJAL便に搭乗予定だったが、思わぬアクシデントに遭遇。搭乗直前にアナウンスがあり、「燃料配管に油漏れがあり、出発が遅れます」。たぶん1時間以内に出発できるだろうと、その時は思っていた。ところが再びアナウンスがあり、修理部品が調達できないため、

65期が上田で同期会

73人参加 インド、上海からも

成田空港か名古屋空港から部品を輸送すること。延々待たされたあげく、出発できたのは午後8時半。この間、JALから食事券が支給され、空港のレストランでミニ宴会となった。

成田へ着いたのは最終電車ぎりぎりの時刻。別れのあいさつもほとんどせずに電車のホームに滑り込んだ。

秋田 勇(62期)



1967年3月に「古城の門」を出てから45年たったことを記念して、9月24日、上田市の「香青軒」で3年ぶりの同期会が開催された。

代表幹事の布施修一郎君をはじめとする地元幹事団の準備のおかげで、当日は遠く海外はインド、上海から、国内は宮城、大阪、愛知からのメンバーも加え、総勢73人が参集した。うち関東勢の参加は24人。われわれ65期は団塊世代の真ん中で、卒業人数11組469人の大所帯。全クラス中、11組が17人の参加者を集め、断トツの結束力を示した。

パーティーでは、矢島好高君所蔵の高校時代の懐かしいスライド

神田美容外科形成外科医院
院長・医学博士
征矢野 進一 (69期)
千代田区鍛冶町二七二
〇三―三三―五七〇―二二

おかげさまで 30 周年!
SINCE 1932
コンサルタント業 (株) 角 式 開 発 研 究 所
宅地建物取引業 (有) カクニリアルエステート
社主・取締役会長 **西村 賢治 (65期)**
〒132-0035 江戸川区平井 6-45-1
Tel 03-3616-8062 Fax 03-3616-8072

が映写されたり、各クラス別に一言スピーチがあったり、にぎやかに和やかに進行し、あつという間の3時間であった。

次は5年後の卒業50年か? 皆名残惜しく散会となった。

翌25日は、有志によるゴルフコンペとテニスの会が企画され、それぞれ汗をかいて楽しんだ。

上原 昇(65期)

劇団前進座の看板女優

「大つごもり」のおみね役で成長



上沢美咲さん

俳優修行を体験します。朝から晩まで発声、立つ座などの訓練の繰り返し。せりふや戯曲なんて、いつになったら勉強できるのか、昼休みの時間も惜しんで基礎訓練に明け暮れました。生半可ではできない厳しさを

87期卒業の上沢美咲と申します。劇団前進座の女優として舞台に立つております。

幼いころの私は引つ込み思案でした。小学生の時、授業中に教科書を音読して先生に褒めていただいたことがございました。大して上手でもなかったのですが、自信を付けてやろうという先生の温かいお気持ちであったと思われまます。褒められればうれしいもので、もっと分かりやすく、もっと感動的に、と工夫して読むようになり、表現することの楽しさを知りました。

1年後に劇団前進座の門をたたき、合格することができました。私が入座した年、入団5年以内の若手女優から主役をオーディションで選ぶことになり、私も参加いたしました。作品は樋口一葉の「大つごもり」。育ての親である叔父夫婦のために奉公先で盗みを働く女中おみねを描いた一葉の代表作の一つです。華奢な容姿が幸いしたのか、このおみね役に私が抜てきされたものの、実際にけいこ入りしてみても大騒動でございました。舞台経験のほとんどない人間が衣装とかつらを身に着けて通行するだけでも難儀なことなのに、

そんな者が主演を務めるのです。手取り足取りとはあのようなことを言うのでしょうか。ベテランの先輩がどんなことでも教えてくださいました。泳ぎを知らないまま水中に投げ込まれた赤ん坊のように私は手足をばたつかせ、いつの間にか泳げるようになっていたのかもしれない。いまだに舞台女優を続けていられるのは弱冠19歳で務めた「おみね」のおかげです。震災の後、感動を届けるこの仕事を続けてきて良かったと思っています。

上沢美咲(87期)

ソフトウェアの

システム技研株式会社

代表取締役 清水 通男 (66期)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-34-1 サンフジビル 5F
TEL (03)5272-8830 FAX (03)5272-8836
URL <http://www.s-giken.com>

理科系班 OB 会開催

恩師の清水先生ら 19 人参加

第7回理科系班OB会が8月28日、東京・中央区銀座の「浜の母や」で開催され、恩師の清水周先生(47期)を筆頭に化学班10人、生物班4人、物理班2人、天文、電気班が各1人の計19人が参加した。関東以外では長野市、上田市、小諸市、北佐久郡立科町、北杜市から計6人が来た。

冒頭、長野市朝日病院リハビリセンター長の大家訓喜氏(57期)による「骨と軟骨」についての小講演があった。

骨を構成する主要要素は、骨を破壊して吸収する破骨細胞、骨を産生する骨芽細胞、骨の機能を維持する骨細胞、コラーゲン繊維、ハイドロキシアパタイトからなり、3、4年で新しくなる。宇宙滞在などで骨を使わないと、細くなる。関節軟骨の成分は75%が水で、軟骨細胞が4%、あとはコラーゲン繊維とプロテログリカン凝集体(ヒアルロン酸、コンドロイチン、ケラタン酸)である。関節軟骨は損傷や欠損が生じてても、組織の自然修復は起こらない。



グルコサミン、ヒアルロン酸、コンドロイチンなどのサプリメントを売っているが、飲んでも効果はまったくない、との話に参加者から「以前から飲んでいるが調子がよい」との意見も。毎年、8月最終日曜日と同じ場所で行っているので、少しでも理科系班に在籍された方はご連絡願います。

連絡先・高橋福幸 (yoshiyuki-taka@nme.biglobe.ne.jp)

石井則男(64期)



足して366歳 八ヶ岳に登る

54期の5人、故郷の名山に挑戦

この夏、同期5人で八ヶ岳に登ってきました。4年前の甲武信岳と蓼科山、3年前の燕岳に続く、

故郷の名山への挑戦でした。

「年寄りの冷や水」と言われなように天気予報も入念に調べ、当初予定を2日間延期しての登山計画実行でした。計画自体もゆつくり、のんびりの高齢者プランで、普通なら1泊2日コースを2泊3日にしました。

なおかつ、出発時に雨が降っていたら登山は即中止で山小屋滞在という計画です。家の者には帰り

が1日、2日延びることもあると前置きして出掛けました。

初日は美濃戸口から5時間かけて行者小屋まで。お酒も中生ビール1杯で我慢して翌日に備えます。翌朝は天気上々、赤岳(2899m)を目指す。地蔵の頭経由で急登もあつて汗みどろになりましたが、八ヶ岳の主峰を踏破しました。頂上から去り難いものがありました。阿弥陀岳へ登るため、次の中岳に向かいました。中岳から振り返る赤岳は峻険(ぶんけん)でした。阿弥陀岳直下、これから登る

うと再度決意を新たにした瞬間、ガスが出てきて頂上が全く見えなくなりました。雨の前兆と思われ、全員が勇気ある撤退を決めました。登頂を断念して宿泊予定の赤岳鉾泉へ急ぎました。けがの功名で、鉾泉には一番風呂に入れました。

3日目、赤岩の頭経由で硫黄岳(2760m)に登りました。ガスと小雨交じりで景観はきまきま

せんでしたが、台座の頭

近くの「お花畑」で、コマクサの群生に歓声を上げました。間もなく後期高齢者に突入する世代でも感動する血潮は弱まっていないようです。

帰りのJR乗車駅の茅野市で打ち上げをしました。街は夏祭りのにぎわっていました。料理がおい

中山道69次を歩く(6)

大湫宿から加納宿まで

第17回は6月4日、大湫

から細久手宿を目指す。ナンジャモンジャの白い花が咲き、のどかな街道歩きである。弁慶が運んできたという巨石を過ぎ、琵琶峠への石畳の道を上る。峠の上に和宮歌碑がある。「住み馴れし都路出でてけふいくひ 急ぐもつらき東路の旅」

細久手宿は寛政年間の大火と、明治になって鉄道から外れたため、往時の面影はない。尾張藩定本陣・大黒屋が今も旅館として営業している。ここで宿泊して、翌朝、御嵩宿に向かった。

御嵩宿までの12キは、秋葉坂、謡坂など坂道の連続、和泉式部供養塔を見て御嵩宿に着いた時はへとへとだった。

しくて、値段がリーズナブルの居酒屋さんに感激が倍増しました。来年は甲斐駒ヶ岳を計画している

か。(八ヶ岳登頂者は萩原統夫、沓掛文哉、神津勝重、小菅健司、田村朗の5人) 沓掛文哉(54期)



太田宿脇本陣(国重文)

板がかかる喫茶店になっていた。第18回は10月22日。太田の渡し跡から太田橋を渡り、太田宿へ。国道が宿場の外を通ったため昔の姿を保っている。脇本陣は美しい卯建があり、国の重要文化財に指定されている。

日本ラインと命名された木曾川沿いの道を歩き、うとう峠へ向かう。峠を下りると、目の前に犬山城が見え、鶴沼宿に着く。

鶴沼宿は濃尾地震の被害が大きく古い建物は数軒のみだが、現在、本陣、脇本陣など町並みを再建中であつた。

各務原の中山道沿いのビジネスホテルに泊り、翌日、間の宿・新加納へ。

新加納は旗本坪内家が陣屋を構えていた。旧御殿医・今尾家は広大な屋敷を構え、今も医院として営業している。

手力雄神社の一の鳥居の前を通り、細畑一里塚を過ぎると加納宿入口。関が原の戦いの後、家康が岐阜城の石垣を運んで造らせたという加納城は崩れかけた本丸の石垣が一部残るのみ。遙かかなたの金華山の上に再建された岐阜城が見える。そして岐阜駅前には、織田信長の金ぴか像がそびえ立つ。

美濃では信長が一番人気なのだ。清水計枝(64期)

赤岳山頂を極める

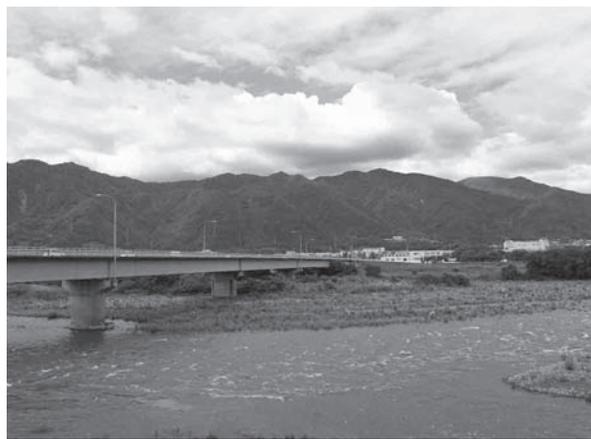


Essay

吾が故郷の千曲川

六川二郎 (51期)

信州上田は私の第2の故郷である。上田を離れてもう60年にもなるが、上田は父母の墳墓の地であり、私の本籍地でもあり、私の墓誌もある。一昨年は兄とともに父の50回忌のため帰郷したが、やはり故郷は懐かしい。信越線から長野新幹線になって、軽井沢から先はトンネルが多く浅間山を車窓から眺められる時間が少なくなったが、上田を訪れるときはいつも「冬の浅間は胸を張れよと父のごとく(加藤楸邨)という句を思い出す。父は小諸商業の卒業生であった。今は新幹線は小諸駅を通らず、佐久平駅を通っているが、軽井沢を過ぎれば必ず島崎藤村の「千曲川のスケッチ



千曲川と太郎山山系 龍野隆彦氏 (60期) 撮影

「と」千曲川旅情のうた」が頭に浮かぶ。暮れ行けば浅間も見えず
歌哀し佐久の草笛
千曲川いざよふ波の
岸近き宿にのぼりつ
濁り酒濁れる飲みて
草枕しばし慰む

この詩には明治のころに曲がつけられており(弘田竜太郎作曲)、若い時に何度か覚えようとしたが、抑揚が少なかったため私が歌うと友人に「お経のようだ」と言われた。後年、40代のころサンフランシスコに4年ほど在住したが、仕事が終わったあと同僚と日本町の「人生宿」というピアノバーにほとんど毎晩入り浸っていた。バーのママは国立音楽学校の出であり、私のためにこの歌をいつも最後に歌ってくれた。

帰国してから千曲川について、もっぱら歌われているのは五木ひろしの「千曲川」であり、藤村の詩を歌ったり聞いたりする機会はなく残念であった。もともと五木ひろしの「千曲川」は作詞、作曲ともに素晴らしく、ロングヒットソングであり、私も愛吟しているが、千曲川は古くから歌に詠まれ、万葉集には「信濃なる筑摩の川の細石も君し踏みてば玉と拾はむ」が有名である。

私は中学・高校のころは、上田市の北西、

太郎山のふもとの旧北国街道に面した所に住んでいたが、当時はウサギを2匹飼っていた。夕方になると鎌とボテという籠を持ってウサギが食べる草取りに田んぼのあぜ道を通り、千曲川の土手に登り、夕日を眺めるのが常だった。

また夏は友達と千曲川で泳いだ思い出もある。当時は上流にダムも無く水流の勢いが強く、川底の石や岩にぶつからないよう注意して泳いだ。川から上がって素っ裸で登って行くと、土手の道を自転車で走っていた通行人が突然首を横に曲げて私の裸体を注視したので、珍しくも無かっただろうが、慌てて隠すものを隠したという妙な記憶もある。

上田に住む前、満州から引き揚げてきた時は上田から2里ほど烏帽子山へ向かって上った小県郡豊里村にいたので、3つの学校の同窓会、同期会に出席する機会が多い。開催の場所は、軽井沢であったり、星野温泉、春日温泉、別所温泉、佐久平、戸倉・上山田温泉などである。特に戸倉・上山田温泉は千曲川の川沿いにあり、いつも早めに行って集合時間まで、川の土手で寝そべっているのが心地よい。千曲川は鮎釣りの名所としても知られ、全国から釣り人が訪れる。

このように私にとって川といえは千曲川である。やや衰えたといっても日本の原風景がある。「なぜこんなにも美しいのだろう。みずみずしいノスタルジー、なぜ懐かしいのだろう」とは地元での宣伝文句だが、決して誇大ではないと思う。

三井住友海上火災保険株式会社 代理店
三井住友海上きらめき生命保険株式会社

株式会社 ハート・ワン保険サービス

取締役 田中一穂 (60期)

〒380-0888 長野県長野市上ヶ屋 2471-3376
TEL & FAX : 050-8686-0881
E-mail : f35540288kt@ngn.janis.or.jp

櫻田法律事務所

弁護士 櫻田喜貢穂 (65期)

弁護士 今井亮 (野沢北高校)

〒102-0092 千代田区隼町 2-17 金辰ビル3F
Tel 03-3512-3562・Fax 03-3512-3563
sakura@sakurada-jimusho.com



河西秀夫氏 (54期) が優勝 秋のゴルフコンペ



好天に恵まれた晩秋の11月10日、千葉カントリークラブ川間コース(千葉県野田市)に同窓生45人が参集し、関東同窓会主催のゴルフコンペが行われた。東日本大震災の影響で、4月に予定されていたコンペを自粛したこともあり、今回は待ちかねた同好の士により、過去最多の出場者となった。常連メンバーに加え、初参加が6人というのも特筆すべきか。

熱戦の結果、優勝は河西秀夫さん(54期)がグロス(G) 82、ネット(N) 64、8アンダーという好成績で、準優勝は依田欣五郎さん(62期)がG 88、N 68で、第3位には小山平六さん(62期)がG 84、N 70でそれぞれ入賞する。プー

ビーには倉見英一さん(55期)がベスグロは初参加の征矢野進一さん(69期)がG 79で獲得した。

優勝した河西さんの弁。「午前東コース2番ショートホールで、あわやホールインワン(30ヤード)のスーパッシュョットが出て38の好スコアであり、その後も安定したゴルフができました」

5回目となる期別対抗戦は、4人以上の参加期7チームで争われたが、出場した4人が全員上位入賞した62期が、平均N 69・7というアンダーパーで3度目の優勝を飾る。2位には新鋭4人で固めた69期が平均N 73・3で続く。

今回は滝澤会長率いる新執行部での初コンペということもあり、優勝カップを新調した。持ち回りの優勝カップ取り切り戦を過去の優勝者4人で行った結果、林長人さん(65期)が最上位となり、栄光の優勝カップを手中にした。

おかげさまで、当ゴルフコンペもすっかり同窓会の行事として定着してきた。来春(4月予定)の次回コンペも、大勢の皆さんの参加で、さらに盛り上げていきたいものである。

ゴルフ同好会幹事

上原 昇(65期)

全国裂織展を開催

上野の森美術館で



公募展第5回全国裂織展が9月23日から28日まで、上野の森美術館で開催されました。私は全国裂織協会の事務局長として、この展示会の企画運営に携わりました。

裂織とは、布を5ミリから1センチくらいの中に裂いて、それを横糸の代わりに織ったものです。古くはボロ織りなどと言い、雪深い地方

森仁志のあゆみ展

2011年12月21日(水) - 28日(水)

2012年1月2日(月) - 5日(木)

上野の森美術館

森仁志さん(63期)は世界最大規模のリトグラフ(石版画)作者として世界的に有名です。

カルナックの巨石から、大版画へ
そして今

20年に亘る森工房制作の
大版画作品回顧と
森仁志の
カルナックテーマの油彩

2011年12月21日(水) - 28日(水)
2012年1月2日(月) - 5日(木)

開館 10:00 - 17:00
休館日 12月29日(日) - 1月1日(日)
入場料 一般 500円 学生半額

THE UENO ROYAL MUSEUM
上野の森美術館

森仁志のあゆみ展

(小谷村など)や漁村(津軽地方など)で古くなった着物やふとんなどを裂いて織り、コタツ掛けや半天とかに再生して日常生活に役立てました。

現在は趣味豊かな作品として、タペストリー、クッション、テーブルクロスなどのインテリアから、洋服、バックなどのファッションアイテムを作って楽しむ人が多くなりました。思い出の着物や捨てようと思つた物を心を込めて織り上げ、新しくよみがえらせて大切に使うという裂織は、まさに現代のエコの精神そのものです。

今回の裂織展は5回目、約160人の方が215点の作品を出展されました。会期中は3000人の来場者があり、素晴らしい作品ばかりだと絶賛する皆さまの言葉を聞き、最初は不安でしたが、それまでの苦労が吹っ飛びました。

全国裂織協会の本部は千葉県館山市、事務局は私の事務所になっております。

猪坂周一(67期)



上田高校 NOW

愛馬を信じて日本一

山口国体 少年2段階障害飛越優勝

増田真七海 (定時制3年)



本年度行われた山口国体では、1日目に出場した馬術競技少年2段階障害飛越競技で優勝することができました。

春からの予選では、自分の思うような走行ができず、練習でもうまくいかない日々が続いていました。そのような状況の中で、本番での優勝は自分にとって、とてもうれしいことでした。

少年最後の国体で必ず優勝したいという思いが強く、また愛馬「ドンコサク」とともに優勝するのが夢でした。自分の走行が近づくと、だんだん馬の調子が悪くなっていき、すごく不安になりました。でも出番になったとき、馬が急に変わりました。その瞬間、私は「この調子なら大丈夫」と思い、馬を信じて走行できました。

終わってからは順位が出るまでドキドキして待つていましたが、全員の競技が終わり、放送で優勝と聞いた時はホッとしました。

来年からは成年女子の部で戦うことになりそうです。引き続きこれからも周りの皆さんに感謝して頑張っていきたいと思います。

(注) 増田真七海さんは女性です。

国体6位入賞を果たして

弓道少年男子の部

今年の国体は例年と違い、東日本復興支援も兼ねて「立ち上げられ！東北 がんばろう！日本」を合言葉に被災地のみならず全国に向けて勇気と希望、そして元気を送る大会でもありました。

私は弓道競技少年男子の部に参加しました。長野県の高校生の弓道人口は男子1300人、女子1500人で、全国では5番目に多い県です。その中で希望者による幾多の選考会を経て男女各3人が国体選手として選考されました。男子の他の2人は豊科高校と木曾青峰高校の生徒でした。

弓道競技には近的と遠的の2種目があります。近的は28センチの直径36センチの的を狙い3人の総的中数を競い、遠的は60センチの直径1センチの的を狙い3人の得点を競います。

初日は近的でしたが、緊張のせいかな普段の力を出せず、予選2回で24射16中で予選敗退。2日目の遠的では後のない私たち

は死にものぐるいで弓を引き、1回戦で今大会の少年男子の最高記録を出しました。2回戦は少し点数が落ちましたが、予選2位で決勝トーナメントに進出。決勝の初戦は開催県の山口県と当たり小差で負け、5位、8位決定戦で6位となり入賞を果たしました。

以上の結果に至るまでは苦勞の連続であったことが思い出されます。入班してからの日々の練習、国体出場を果たすための選考会、毎週末の合宿、北信越国体、本国体……。しかし、3年間の班活動で得たものは大きく、主将をやらせていただいたことで、さらに自信が積みま

した。ここまでの過程で多くの仲間に出会い、互いに成長して今があると思います。そして国体で経験したことは必ず人生に生かせることだと考えています。ここまで私を支えてくださった皆さんに感謝したいと思います。

金子 周(全日制3年)

証券アナリスト基礎講座

申込受付中

個人賛助会員

投資に興味がある方に最適な

学習しやすい初級レベル通信講座！

—コンパクトなテキスト(2分冊)による自学自習を補完する

演習問題も充実— 受講料:15,000円

お問い合わせ:03-3666-1511(kiso@saa.or.jp)

会員の特典が多数あります！

証券アナリストジャーナルの毎月送付、会社説明会(無料)・講演会・セミナー(会員割引価格)の参加など。

年会費:18,000円以上(満65歳以上の方は、12,000円)

お問い合わせ:03-3666-1411(member@saa.or.jp)



公益社団法人 日本証券アナリスト協会 (59期 萩原清人)



1年生

長野市で2泊3日の学習合宿

1学年担任 村松靖彦

112期生（1学年）も夏休みを挟んでようやく高校生活に慣れ、馴染み、気持ちに余裕、否、緩みが出てきたのかもしれない。9月、10月などは運動班の諸君は3年生の引退を受け、2年生とともに練習の中心となり、体力的にも一番きつくて辛い時期になったのでしょうか。午後の授業を中心に睡魔に襲われる生徒が少なからず見受けられました。そうは言っても「これではイカンぞ」ということで、学習合宿に向かわせることになりました。



長野市のホテルで学習合宿

学習合宿は学年の学習指導の計画に位置づけられている行事で、長野市の松代ロイヤルホテルで、10月12日から2泊3日で実施しました。初日は開校式から本校職員による学習講演会、その後は昼食・夕食・入浴などを挟みつつ総計500分。2日目は朝から晩まで総計675分。3日目は200分の学習の後、3日間の成果を發揮すべく英国数の小テストを3本で合わせて90分。310人以上を収容した大ホールには、自学自習に取り組む生徒諸君の真剣な姿が見受けられ、カリカリと鉛筆の音が響きました。閉校式では総合計24時間25分に及んだ学習の総括が行われ、学年主任の丸山先生より、「よくやった」のお褒めの言葉をいただきました。

生徒諸君の反省アンケートも「最初は嫌だと思ったが、やってみたら面白かった」「意外と集中できて短く感じた」「達成感があった、またやってほしい」「周りの仲間の集中ぶりが刺激となってがんばれた」「学習習慣が乱れていただったので、見直すきっかけに

なった」など、ヒマワリのように

向目的なものが大多数を占め、「やっぱり皆、上田高校生だな」と職員は大いに感銘を受けたのであります。収穫の秋に向けて、この調子だぞ、112期生！引き続き日常でも頑張らせたいと思

2年生

沖縄修学旅行

基地問題考える

2学年担任 南澤茂徳



首里城で記念撮影

2学年は10月10日から13日の3泊4日で沖縄の地を訪れました。平和について考える事前学習を積み重ねた上での修学旅行だけに、生徒たちと職員にもそれぞれ期すものがありました。

1日目。早朝からの上田駅集合でしたが遅れる者もなく、現地の

います。

ホテル内での心構えやマナー、立ち居振る舞いには不十分な点もあつたようですが、今後、日常生活、学習生活、班活などあらゆる面で、今回の成果と反省を生かさせたいと思います。

雨模様とは対照的な好天の中、スタートすることができました。現地到着。そぼ降る雨が徐々に強まり、傘をさす状況の中、旧海軍司令部壕跡見学。生徒たちはまだ美感のわかないままの見学だったと思います。あくまで平和学習の序章。翌日見学するガマ（糸数壕）との相違、上層部と庶民層との待遇や置かれた状況のあまりの違いに驚くことになるわけです。初日の締めは平和講演会。琉球新報社ホールで宮城喜久子先生が70分ほど講演しました。語り部としての使命感に聴取者の態度の良さも手伝つてか、宮城先生の話には数年前以上の迫力が加わり、聴き入る生徒の中にはその迫力に押され、気分が悪くなって退席する者まで現れました。その余韻もあつてか、翌日のガマ見学が不可能になった

生徒もいました。

2日目は全クラス平和学習。糸数壕、平和記念公園、ひめゆり平和祈念資料館、佐喜真美術館などを中心に見学。平和記念公園での生徒たちの平和宣言。過去の悲惨な歴史に始まり、現在の基地問題の一端に迫る中身の濃い、時間的にも少々きつい行程でしたが、生徒たちは実に機敏に動いてくれました。青春期に受けた衝撃は未来永劫忘れることなく、再び過ちを犯さぬ方向へと歩み続けてくれるものと確信しています。

3日目は沖縄の美しい自然を満喫する行程。時おり雨がぱらつきましたが、碧空の下、生徒たちは各自が選んだコース別でマリンスポーツや伝統文化体験などに興ずることができました。

4日目の最終日は、首里城見学と那覇市男女共同参画センター『ていりる』での謝花尚先生の講演会で、基地問題をはじめとした現在の沖縄について再度考える機会を得ました。

今回の旅行目的の「歴史に学んで平和希求」「異文化理解と環境保全」「集団内での自己の確立」の3本柱はほぼ達成できたのではないかと自負しています。何より参加者全員が大過なく全行程を終了できたことに安堵しています。



3年生

胆大心小

3学年担任 山崎治道

早いもので110期生が入学してから2年以上がたち、もう入試シーズンを迎えようとしています。9月中旬に松尾祭運動の部が終わり、ほとんどの生徒が気持ちを切り替え、自分の希望する進路に向かって充実した学校生活を送っています。

今年度は東日本大震災の影響や、センター試験の事前届けの大幅変更など、110期生にとつて過去に例をみない状況に置かれています。しかし、先輩諸氏も実践された「文武両道・自学自習」の伝統を継承しながら、どんな境遇に置かれても、向かっていく強い気持ち」を忘れないで日々努力を重ねています。

上田高校 NOW



す。

受験には「学力・体力・気力」が必要だとよく言われていますが、「気力」の部分で前向きになれるよう、保護者および同窓会の皆さまが一体となって支えていただき、大変感謝しています。3年間、同窓会より寄贈していただいたエアコンの恩恵にあずかった110期生が、たくさんの方々に支えられて受験できる喜びを感じながら、肝を大きく心細やかにして頑張ってくれることを期待したいと思います。

東北在住の同窓生紹介を!

仙台支部が活動開始

皆さん、仙台支部の存在をご存じですか。

私は10年前に横浜から岩手県南の衣川(平泉中尊寺北2ヶ)に引越しましたが、今も関東同窓会に所属しています。

9月の会合で仙台支部が存在するらしいことを知り、支部長の小林邦英さん(63期、Eメール k2.chica@com.home.ne.jp)に

メールしました。3年前から支部長をしている小林さんから「宮城、山形、福島で30人ぐらいですが、プライベートのこともあり、いきなり連絡するのはむずかしい。活動は現在、3人で年2回会う程度ですが、まず本部の同窓会報『古城の門』に私の連絡先を載せ、皆さんの連絡を待っているところです」と返信いただきました。

震災後、水、電気、水道が断られた中で、高校の先輩から届いたはがきや、上田から岩手沿岸に支援に向かう先輩方の存在に気持ちが救われました。あれから9カ月、東北在住の同窓生は今どのようにお過ごしかと気になっていきます。震災を機に、同窓生が顔を合わせることであればうれしい。

それを機に同窓会として、いろいろな活動が始まるかもしれません。そこで関東同窓会の皆さま、東北在住の同窓生がいらしたら、お伝えください。「小林代表、または自称連絡係の花岡(Eメール hannah@wmail.pala.or.jp)まで

連絡するように、東北の同窓会にご参加を」と。

岩手県奥州市在住

花岡千賀子(70期)

祝! 会報 83 号

- ・関東同窓会唯一の同好会
- ・年2回(春・秋)、ゴルフコンペ開催
- ・初参加の方、大歓迎
- ・今回は2012年4月4日、千葉CC川間コース



関東同窓会ゴルフ同好会・幹事 上原 昇(65期)
TEL 048-641-7749 n-uehara0816@spa.nifty.com

アクト法律事務所

〒107-0052
東京都港区赤坂3丁目9番18号
赤坂見附 KITAYAMA ビル3階
TEL: 03-5570-5671 (代表)
FAX: 03-5570-5674
【最寄りの交通機関】
地下鉄銀座線・丸ノ内線 赤坂見附駅下車徒歩1分

一彦(62期)
重隆
井田 慎一
岩安 平澤 光太
弁護士(所長) 岩井重
弁護士 安田隆
弁護士 平澤慎
弁護士 波戸岡
弁護士 黒澤真志



日本アカデミー賞映画「スウィングガールズ」の感動を再び

JAZZ CANDY from 蓼科高校ジャズクラブ

ライブ CD 「スタンダードタイム」 好評発売中

制作・指揮 斎藤研郎 (72 期) プロデュース 井出孝光 (61 期)

問い合わせ先 <http://www.jazz-candy.com/>

新たな教育システムの創造

松実学園グループ

初等部・中等部・高等部

現在の教育システムでは対応困難な児童生徒の為の学園

医科系大学特進コース・松実メディカル高等予備校

医学部進学・難関大学進学の為の特別コース

松実国際高等学園 (認可申請中)

世界のリーダーを育成する国際高等学校

(社) ISM 教育総合研究所

理事長・学園長 松井 石根 (60 期)

東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された地域の皆様、そのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

まつみこうとうがくえん

松実高等学園

本校 埼玉県春日部市中央1-55-15
<http://www.matsumi-gakuen.net>

Outsourcingの知識集団

保険会社の内部監査請負・FC 組織の Franchisee の内部監査・医療法人の Consultation

株式会社 fellow

取締役社長 古畑 克巳 (69 期)

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-19-4 K S 司町ビル3F

TEL 03-5283-7225

<http://www16.ocn.ne.jp/~fellow/index.html>

FAX 03-5283-7226

旅行代理店

(株)トラベル・アイ

永年のキャリア
信用と誠実第一

旅のことならなんでもお気軽にお問い合わせください。

〈海外旅行〉

各種パッケージツアーの販売

割引航空券・ツアー販売(世界各地)

団体企画

〈国内旅行〉

貸切観光バス手配

全国旅館・ホテル手配

渋谷区東3-17-11-301

TEL (03)3442-4381(代)

代表取締役 秋田 勇 (62 期)

DKC

第一会計コンサルタント
Daiichi Kaikei Consultant

お客様の立場で企業
経営をトータルに
バックアップします

〒171-0014 東京都豊島区池袋2-46-3 CIMA100ビル5F

TEL 03-5992-4981(代表)

FAX 03-5992-5090

URL <http://www.dkc-g.co.jp>

E-mail kubo@dkc-g.co.jp

代表取締役

久保 柳哉 (60 期)



会員短信

第50回総会への
出欠はがきより

32期 水野利男

耳がよく聞こえませんが、欠席いたします。身体は元気です

36期 小川太郎

9月で92歳になりますが、毎月25日の上田36会に出ています。

41期 宮下俊夫

41期生はこの1、2年で米寿に達します。年2回、上田と東京で会合を開催しています。

42期 栗田裕夫

歩行力弱化的ため家の周辺を散歩する程度です。時代も変わり、世代も変わっていきます。

42期 横山誠之助

今年から同期の皆さんの意思で会合が中止になったのは残念です。結局、有志同志の会合になると思います。それが楽しみです。

43期 佐々木三夫

会報いつもありがとうございます。今回の内容は同期生の一口コメントや記事、座談会（女性同窓生）など楽しく拝見しました。

43期 土屋 功

「戦時の思い出絆深める 43期A組が毎年同級会」の記事、大変面白く読ませていただきました。

44・4期 滝沢源平

年相応に体力減退。健康管理のため早朝ウォーキング、ラジオ体操、ゴルフで頑張っています。昨年11月6日、エージシュート達成、ゴルフ場から承認書を頂きました。スコアは81（39、42）。

48期 小林芳彦

唐沢隆三先生（35期）が5月に92歳の生涯を閉じられました。先生は東御市滋野出身で、旧上田中学、北海道大学数学科を卒業。江田島の海軍兵学校教官を経て、昭和21年8月から翌年3月まで上田中学48期の数学を担当し、東京に移ってからは都立高校5校の教員を務めました。

昭和29年に東京・練馬の自宅に「ソオル社」を設立し、個人誌「柳」を創刊。以来、今年2月の第863号まで57年間、毎月発行を続けました。自由律俳句「層雲」に中学時代から参加し、「柳三」の名を持つ萩原井泉水門下の俳人であり、俳句の研究者でもありました。著書（非売品）に「石川三四郎書簡集」「福田英子書簡集」などがあります。

会報CDの追加配布

1000円で郵送します

関東同窓会の会報「うえだ」を収録したCDは先の総会で、総会50回を記念して出席者の方に謹呈いたしました。

創刊号から82号まですべて収録して思い出を手繰る便となること、「索引」があって記事を探しやすいことなど、好評な感謝の声を多数いただいております。

未入手の方には、会報同封の振込用紙（振込料は会が負担）に「会報CD代」と記載し、1000円送っていただければ、折り返しお送りいたします。

48期 中澤利雄

卒業以来61年、傘寿の80歳。日々元気で楽しく過ごしています。当日は「はやぶさ」開発と母校室内楽班の演奏を楽しみに参ります。

48期 堀内 惇

白井透会長のメール通信を楽しみ、読ませてもらっています。同窓会員もパソコン時代の年齢が多くなると占めるようになりました。パソコンの有用な活用を期待します。

49期 松岡秀夫

今年も高山植物のカレンダーの画像の撮影に、樺池高原、八ヶ岳、本白根山周辺へ行く予定です。

50期 金井忠雄

少子化で日本人の人口が減少傾向の現在、若者から老人までもっと元気を出して「がんばろう日本」のかけ声を現実のものにしよう。

50期 宮本嘉興

元気に経営コンサルティングの仕事に従事しています。



信州の自然を大切に考え
製品を作り続けています

信州ハム株式会社

代表取締役社長 中村 幸男 (65期)

〒386-8686 上田市下塩尻 950
TEL 0268-26-8686

花形

紫朗

(65期)



社会医療法人 恵仁会

理事長 黒澤 一也
常務理事 黒澤 美那子 (60期)

社会医療法人 恵仁会は
命を大切にし
地域の皆さまの生活を支える
保健・医療・福祉を目指します

<http://www.keijinnet.or.jp>

〒385-0051 長野県佐久市中込3-15-6

TEL 0267-64-1700 FAX 0267-64-1719

E-mail info@keijinnet.or.jp



51期 有賀秀雄

今後は80歳に該当しますが、寄付などで協力したいと思えます。そのためには健康に留意し長生きしなければと痛感！ 会報のできが素晴らしいですね。何回も読み直し、往時を思い出しています。

51期 飯塚 壽

映画全盛の30年代。そしてテレビ時代、衛星放送時代に。生死の大病(脳出血)でリハビリ中です。

51期 内久根孝一

全日本社会人囲碁団体戦を実施中です。ご参加を。

51期 黒川嘉郎

5月14日のマスターズ・チャリティーレガッタに75歳以上4人乗りスカルに出漕し快勝した。エイト(70歳以上)はゴールイン1秒の間に4艇もがなだれ込む激戦に惜敗、来年を期す。

51期 保坂利勝

51期6組の同級会が6月6日、58年ぶりに別所温泉の中松屋でありました。別所線の千曲川にかかる鉄橋が塗り替えられ、その赤い鉄橋が緑の中で鮮やかでした。

51期 丸山瑛一

私の生家を旧北国街道の活性化に利用しようというNPOができました。赤松小三郎や山極勝三郎など上田生まれの巨人のPRにも活用してほしいと思っています。

51期 八木浩輔

筑波大学大学院で、セミナー「宇宙ビッグバンにおける源物質の創成」を開始。テキストにケンブリッジ大学出版の自書「Quantum Plasma」を使用。この本は国内外で読まれ、ペーパーバックス版も出版され半額の75ドルです。

52期 古川 一

会報を拝見するのが楽しみです。今回は同期入校の女性2人の対談をなつかしく読みました。

53期 塚田 靖

出身大学(東京芸大)関係のことで出張中です。打楽器合奏団「ザ・サークル90」の次回定期演奏は2012年3月30日です。

53期 服部聡一郎

いつまでも治療行為と葉の葉つくりと山歩きを続けられたらうれしいです。

54期 深町勝男

今年2月いっぱい失職しました。老後の生活面で健康第一に考えています。

54期 藤村延魚

「中央寮歌祭」を立ち上げました。北大から鹿児島大まで約60大学が一堂に会し、寮歌を歌う会です。

55期 小林弓右司

亡き友、有賀俊雄君を偲ぶ あなたの無理のないスリークォ

1ターより

の投球は精密機械のように正確で、強豪を苦しめましたね。速いボールがなくてもコン

運営基金拠出者

| 期 | 氏名 | 金額 |
|----|------|--------|
| 64 | 柳沢篤俊 | 10,000 |
| 66 | 田口 博 | 10,000 |
| 67 | 林 千春 | 10,000 |
| | 計3人 | 30,000 |

トロールが良ければ結果を残せることを実証しました。昭和29年秋、北信

越高校野球信越大会長野県東信予選、対野沢北校

戦に起きたアクシデント(投球した時に右腕上腕

部骨折)は残念でなりません。あなたの右腕が健

在でしたら夢の甲子園へと駒を進め得たと思うの

は私だけではないでしょう。翌年8月1日の全国

高校野球信越大会決勝戦は延長戦で敗れ、夢と消

えた甲子園。同月4日の長野県大会決勝戦は最終

回逆転さよなら勝ちで優勝し、あなたが優勝旗を

両腕に抱え球場内を一周した思い出は、球友から

あなたへのささやかな贈り物ではなかったかと思

っています。

寄付者 / 寄付グループ

(2011年4月1日～9月30日) (敬称略)

| 期 | 氏名 | 金額 | 期 | 氏名 | 金額 | 期 | 氏名 | 金額 | 期 | 氏名 | 金額 |
|------|---------|-------|----|-------|-------|----|--------|-------|-----|-------|--------|
| 32 | 水野利男 | 10000 | 54 | 久昌貴代江 | 2000 | 61 | 笠井徳爾 | 5000 | 68 | 桜井啓一 | 4000 |
| 35 | 中山順藏 | 2000 | 54 | 藤村延魚 | 2000 | 61 | 滝澤 進 | 20000 | 70 | 中村建哉 | 1000 |
| 36 | 滝沢克己 | 10000 | 55 | 宮島光男 | 4000 | 62 | 浅井保雄 | 2000 | 71 | 長谷川敏雄 | 1000 |
| 40 | 児玉安彦 | 10000 | 56 | 神津 進 | 1000 | 62 | 栗山正雄 | 3000 | 72 | 青沼 泉 | 2000 |
| 41 | 宮下俊夫 | 4000 | 56 | 笹澤政道 | 2000 | 62 | 高梨泰男 | 1000 | 72 | 奥山利幸 | 2000 |
| 42 | 横山誠之助 | 10000 | 56 | 成田邦夫 | 2000 | 62 | 松井由美 | 4000 | 72 | 北沢 豪 | 2000 |
| 43 | 梅田 貴 | 10000 | 56 | 濱村邦夫 | 1000 | 62 | 諸岡健児 | 1000 | 72 | 長坂武見 | 2000 |
| 43 | 田玉重陽 | 10000 | 57 | 高木佳年 | 1000 | 62 | 柳澤敏雄 | 1000 | 72 | 渡邊温子 | 5000 |
| 44-5 | 小林義徳ご遺族 | 10000 | 57 | 田村義昭 | 10000 | 62 | 依田欣五郎 | 4000 | 74 | 林 幸平 | 1000 |
| 44-4 | 児玉志郎ご遺族 | 5000 | 57 | 森田紀武 | 1000 | 63 | 川村恭司 | 2000 | 79 | 戸田由香 | 1000 |
| 44-4 | 滝沢源平 | 2000 | 57 | 山寄逸雄 | 1000 | 63 | 藤川 昇 | 2000 | 79 | 長田敦子 | 1000 |
| 46 | 工藤忠房 | 1000 | 58 | 桜井兼三 | 10000 | 63 | 保屋野美智子 | 4000 | 79 | 水沢 宏 | 2000 |
| 46 | 佐藤 信 | 2000 | 58 | 吉池千冬 | 1000 | 63 | 山浦善樹 | 2000 | 80 | 會田信子 | 4000 |
| 46 | 清水巻郎 | 2000 | 58 | 渡辺武彦 | 6000 | 64 | 青木伸彦 | 2000 | 81 | 小池 徹 | 2000 |
| 46 | 水澤 博 | 2000 | 60 | 池田 清 | 4000 | 64 | 伊田 賢 | 2000 | 81 | 堀内康男 | 30000 |
| 47 | 柄沢和彦 | 6000 | 60 | 大池高保 | 1000 | 64 | 倉沢直彦 | 2000 | 81 | 毛利昌光 | 2000 |
| 48 | 熊川次男 | 2000 | 60 | 大橋邦夫 | 4000 | 64 | 田中 学 | 10000 | 81 | 横関正人 | 1000 |
| 48 | 中澤利雄 | 2000 | 60 | 北村友和 | 15000 | 64 | 中山 敏 | 2000 | 87 | 上沢美咲 | 1000 |
| 48 | 吉村 功 | 2000 | 60 | 清水敏弘 | 1000 | 65 | 上原 昇 | 5000 | 103 | 大谷真宙 | 1000 |
| 49 | 上野貞夫 | 1000 | 60 | 白井 透 | 12000 | 65 | 小山佳朗 | 1000 | | | |
| 49 | 荻原 賢 | 10000 | 60 | 関 一嘉 | 2000 | 65 | 塩川明男 | 1000 | | 61期有志 | 600 |
| 49 | 風間 充 | 1000 | 60 | 鷹野芳機 | 5000 | 65 | 原田義則 | 1000 | | 67期有志 | 7000 |
| 50 | 渡辺 弘ご遺族 | 10000 | 60 | 竹倉征祠 | 4000 | 66 | 清水通男 | 4000 | | 役員有志 | 13671 |
| 51 | 上原隆雄 | 4000 | 60 | 日置勇二 | 50000 | 66 | 竹内豊和 | 1000 | | | |
| 53 | 清水義正ご遺族 | 3000 | 60 | 福嶋 宣 | 10000 | 67 | 堤 達 | 2000 | | | |
| 53 | 土屋 隆 | 1000 | 60 | 山本哲之 | 1000 | 68 | 碓田 茂 | 14000 | | | |
| 54 | 石原澄江 | 2000 | 61 | 池田 稔 | 2000 | 68 | 尾台孝男 | 2000 | | 合計 | 475271 |

55期 黒岩 了

繰り返し説かるる「無心」霧深し

56期 成田邦夫

「関東同窓会総会50回の歩み」を見て、その第1回が1958年4月であったことにあらためて気付きました。私が卒業し、上田松尾高校が上田高校に改められ、18年間を過ごした上田を鹿島立ちした時でありました。以来54年が経過し、72回目の誕生日を50回目の総会当日の7月3日に迎えます。

56期 笹沢政道

松尾倶楽部、上田郷友会にもお伺いしていますが、同窓会でしか会えない方もおりますので、楽しみにしています。

56期 濱村邦夫

同窓会はあと10年存続できるか。若い人が入らなければ先細り。ひところ前ほど職業が安定していない。若い人にはカネ、ヒマがない。故郷や少年時代もさほど懐かしいものではなくなつて、携帯やバーチャルゲームに没頭する。危機には救国のヒーロー、ヒロインが現れるはずだが、何を旗印に？愛、仲間、閥、同好の士……。

57期 金澤昭義

57期柔和会に連絡をください。

57期 久保新一

3月末で定年(70歳)退職しました。

58期 平松勝利

会報ありがとうございます。同期の林君の音信を目にするたびに、楽しい

思い出と同時に不義理した年月を思います。Eメールの活用はぜひ実現を。

60歳で覚えたPCも今では横浜市囲碁連合会の連絡に大活躍をしています。

58期 本田祥治

58期1組在首都圏12-13人がたまに会い、飲んでいます。

58期 森 邦夫

二木会(58期会) 毎月第2木曜日、松門檀会(58期5組) 於上田「のめ」への出席を心掛けています。

59期 響場賢司

白井様よりのPCへのメール、楽しく読ませていただいております。

59期 萩原清人

4月1日から日本証券アナリスト協会は公益社団法人となりました。しかし「角を矯めて牛を殺す」の感を拭えません。

60期 小林秀芳

脳梗塞、10年になりました。そろそろ社会復帰かなと考えています。

60期 塚田 晃

定年退職して7年、町内会でささやかにボランティア中です。

60期 矢島邦彦

地元のマンクラでギターを弾いています。毎年、定期演奏会をしているミューザ川崎のホールが地震で壊れて、

今年は開催できませんでした。

61期 笠井徳爾

Eメールの活用をさらに推進したいですね。Facebookのこと誰か教えて。

心よりお悔やみ申し上げます。

訃報

| | | | | | |
|-----------|-------------|------------|-------------|----------|-------------|
| 25期 宮入 博 | 2010年12月16日 | 42期 宮本 武 | 2010年11月4日 | 54期 有賀俊雄 | 2011年8月25日 |
| 33期 土屋二三男 | 2010年11月25日 | 44-5期 小林義徳 | 2011年1月2日 | 55期 沓掛正幸 | 2011年3月10日 |
| 35期 唐沢隆三 | 2011年5月6日 | 44-5期 原嶋佐吉 | 2011年7月4日 | 59期 小林宏行 | 2011年7月29日 |
| 35期 小宮山隆三 | 2011年2月18日 | 44-4期 児玉志郎 | 2010年6月29日 | 60期 宮本省治 | 2011年9月23日 |
| 36期 伊藤敏次郎 | 2010年 | 46期 小西幸男 | 2009年 | 61期 大井 剛 | 2011年6月21日 |
| 36期 山城光雄 | 2010年5月26日 | 47期 宮原信治 | 2011年6月10日 | 61期 北島 令 | 不明 |
| 38期 高木弘行 | 2011年1月14日 | 50期 石井敬二 | 2011年 | 63期 萩原英夫 | 2011年2月15日 |
| 39期 柳沢寛一 | 2011年9月20日 | 50期 渡邊 弘 | 2010年12月23日 | 65期 小山雅堂 | 2011年11月27日 |
| 40期 吉田節生 | 2011年10月16日 | 53期 大久保正寿 | 2010年10月28日 | 66期 小泉元紀 | 2008年11月 |
| 41期 古松 彰 | 2011年3月16日 | 53期 清水義正 | 2010年12月16日 | | |
| 42期 佐藤成男 | 2011年2月19日 | 53期 村松 厚 | 2010年12月16日 | | |

原嶋佐吉さん逝く

昭和20年代から30年代にかけて幾多の先輩方が築いてこられた上田高校関東同窓会ですが、その次の40年代からご尽力された原嶋佐吉さん(44・5)が7月4日逝去されました。

横山誠之助(42期)会長時代には特別にお世話になりました。執行部が大会人員増員のため福引を取り入れたところ、高価な宝飾類をご寄付いただいたり、幹事長が手が回らないところは率先して手伝ってくださり、庶民的な大先輩でした。こんな方に一度は関東同窓会の会長さんをしていただきたかったです。諸事情により実現しなかったのは誠に残念です。

昨秋10月6日に明治記念館において「お別れの会」が催され、元会長の横山さん、元上田市市長の竹下さん、同期の皆さんなど7人の同窓会員が出席し、ご遺影の前で校歌を歌い、ご冥福を祈りました。

この「お別れの会」には原嶋さんが会長などを務められた東京長野県人会、新宿長野県人会の皆さんもお出でになり、「信濃の国」を大合唱して大先輩に永久のお別れをしました。 合掌

元幹事長 馬場武彦(54期)



61期 吉田光明

NPO法人「うるおい工房村」代表理事でがんばっています。

62期 片山隆行

4月に第2の職場を退職。6月から新しい会社「信号器材」に週3日ぐらい出勤しています。

62期 木内和宣

オーナー会長が教育に熱心で、土、日も出社が多い状態です。来年6月までで社長を退任する予定で、それまでは頑張るつもりです。

63期 塩沢清文

定年後、同じ職場で引き続き勤務しています。畑、鉢物、プールと忙しい毎日です。

63期 角田玲子

2年間と決めて編入した大学通信教育の2年目。先進国の中で、日本が精神保健福祉分野で最悪ともいえるほどに遅れている現実を痛感しています。

63期 矢島正晴

4月より教師生活に入りました。つくば↓名古屋↓上田と毎月大きく動いています。

64期 有賀 猛

9月10日に練馬文化センターで開催される田村大三門下生による「指笛音楽発表会」出場のための特訓中です。

64期 宮坂信之

4月から東京医科歯科大学医学

部付属病院長に着任しました。

65期 上原 昇

65期年会費納入者が期別ナンバ1となりました。今後は継続納入することが重要と思います。

67期 清水研一郎

定年退職し、ゆつくり後進の育成に、また地域ボランティアに精を尽くしています。

69期 前田啓子

総会当日お手伝いすることになりました。出席は初めてですので、お役に立てるかどうかわかりませんが、よろしく願いいたします。

70期 花岡千賀子

震災からはや3カ月、6月10日に大槌へ行つてまいります。今度は、地元レストランで食事をし、地元の海産物を買ひ、流された仲間の畑の草とりを…などと、遠足のように計画しています。

72期 奥山利幸

卒業以来、初めて出席させていただきます。堀内氏の講演を楽しみにしています。

76期 金井一正

体操競技のマスターズ大会に今でも参加していますが、身体の衰えに合わせて楽しんでいきます。

81期 金井敦子

川崎市で保健師として忙しくしています。子も2人が20歳を超えました

兄の死

兄、俊雄は74歳の誕生日を目前にし、病を得て8月下旬に死亡しました。あまりにも早い兄との別れにわれわれ兄弟は呆然自失の態でございました。葬儀に際しては、これまで兄と懇意にしていただいた上田高校54期の皆さん、球友会（上田高校野球部のOB会）の皆さんのご厚情を賜り、愚弟として感謝に堪えません。

それにしても同期の方々、野球部の方々の結束力にあらためて感心し、強い絆で結ばれていることをうらやましく感じました。同期の馬場様、球友会の成田様に病状をご連絡したところ、関係者の方が大勢お見舞いにお越しいただきましたが、その翌日、兄は安心

したのか息を引き取りました。

兄は同期会、球友会に率先して参加し、いずれの会合も大勢の方が参加されたことを耳にしておりました。兄が必ずしもリーダーではなく、他の方と一緒に会を盛り上げたものと推察しております。兄に特に人徳があったとは思いませんが、高2の時、右腕を投球の時に骨折していなかったら、3年時には初の甲子園出場を果たせたであろう無念さを感じさせず常に明るく振舞っていたことなども、皆さんに親しまれた要因の一つかと思えます。私も関東同窓会、松尾倶楽部などの会合には極力参加し、同期諸兄との交流、同窓生との懇親を深め、一歩でも兄の域に達しようと念じております。

有賀勝雄（59期）

81期 小野義孝

学校現場を離れ、教育行政5年目になります。学校教育を生涯学習の視点から見るものが多くなってきました。

83期 竹内延彦

本年4月に、民間より長野県庁次世代サポート課企画幹として採用され、子どもから若者まで幅広い支援行政に携わっています。

87期 上沢美咲

総会出席初めてです。震災やら、

何やらあつて、人との絆、つながりを深めたいと思うようになります。出席したいと思うようになりました。

103期 佐藤 有

大学を卒業後、就職して3年目になります。金融機関にて、休みなく働いています。今は仕事を楽しめてたまらないところですが、東京での生活が長くなり、なかなか上田に帰る機会を作れず淋しく思っています。

編集後記

時間に追われる編集作業を終えると、何とも言葉えぬ解放感に包まれる。そんな時、頭に浮かぶのは次に出かける旅のこと。これまで訪れた外国は56

方国。見知らぬ土地の風景や人情に接する旅の醍醐味は、思わぬハプニングに遭遇することだ。▼この夏、カナダで珍しい体験をした。ロッキーマウンテンのふもと町パンフで車に給油中、カナダ人女性から「スズキさんですか」と尋ねられたのが「異変」の始まり。その時は気にも留めなかったが、バンクーバー、トロントなど行く先々で見知らぬカナダ人に声を掛けられることが相次いだ。▼古都ケベックシティでは観光馬車の御者のおじさんが私を見て「デービッド・スズキだ」叫んだのでびっくり。呼び止めて聞くと、「スズキは有名な環境保護活動家で、カナダ人なら誰でも知っているよ」。▼帰国後、ネットで調べると、スズキ氏（75）は日系3世で、CBCテレビの人気番組「ネイチャー・オブ・シングス」の司会を30年も務めた有名な人。同放送による「存命する最も偉大なカナダ人」に選ばれたこともある。遠く離れたカナダで、生まれて初めて味わった「そっくりさん」の気分は格別だった。 真山隆夫



料理研究家・栄養士 阪下千恵さん (93期)



日本のテレビにはグルメ番組があふれている。タレントがおいしいものを食べ歩く。自慢の料理を紹介する。著名な料理人が創作料理を競い合う。そんなグルメ番組の氾濫に、いささか「食傷」している人もいるだろう。

新進の料理研究家・栄養士の阪下千恵さん(35、旧姓・堀内)が目指す道は「ひと味」違う。掲げるテーマは「体と心にやさしい料理」。特に食物アレルギーの子供たちがおいしく食べられる料理の研究に力を注いでいる。

2歳年上の姉(堀内千保さん)に続いて上田高校に入学。「マイペースで勉強ができた姉と違って、私はこれといった特徴もない普通の学生でした」。美術班と演劇班に籍を置いたが、あまり活発な班員ではなかったという。

外交官を目指していた姉の影響もあって、大学は獨協大学外国語学部フランス

語学科へ。だが、料理教室に顔を出すうちに料理好きな自分に気付き、卒業後は外食大手「ロイヤル」に就職した。

最初は系列レストランでアルバイト店員と一緒に店舗研修。テキパキとした仕事ができず「社員のくせに何もできない」と言われたこともある。ハードワークの毎日が続く中、39度の熱を押して出勤したら肺炎でダウン。「もうこれ以上は無理」と思い、1年後に退職した。

再就職した有機栽培野菜の宅配会社で、先輩社員から見初められ26歳で結婚。翌年には長女的美鈴音(みりな)ちゃんを出産した。この時から彼女の人生は転機を迎える。

美鈴音ちゃんの体に湿疹が広がっているのに気付き、病院を転々とした結果、重度の食物アレルギーと診断された。米、卵、乳製品、そばなどを食べると必ず体中に湿疹が出る。「何を食べさせたらいいの」。苦悩する毎日が続いた。本などに紹介されているアレルギー対応料理は高価な食材ばかりで、おいしくもない。

「安くておいしいアレルギー用料理を作ろうと、いろいろ試しているうちに、レシピは100を超えていました。そこで同じ悩みを持つ人たちに情報を提供しようと、ブログを立ち上げました」

ブログに載せた卵・乳製品を抜いたクリスマスケーキのレシピが雑誌編集者の目にとまり、特集として掲載された。これを契機に様々な料理雑誌から声がかか



乳、卵、小麦不使用のハンバーグ

り始める。「料理研究家として生きていこう」。既に30歳になっていたが、栄養士の資格を取るため、自宅に近い淑徳短期大学食物栄養学科に入学する。そこで出会った教授(学科長)は、偶然にも上田高校の先輩の保屋野美智子さん(63期)。「先生の激励を受け、若い学生に交じって初めて一生懸命勉強をした」結果、同学科を首席で卒業した。

これまで考案したレシピは約1000種類に上る。今ではテレビ・ラジオへの出演、雑誌やホームページでのレシピ連載、学校などでの講演に忙しい日々を送っている。「メインは普通の家庭料理のレシピ作成ですが、アレルギー対応料理は自分のライフワーク。悩んでいる人に少しでもお役に立てれば、と思っています」。淡々と語る阪下さんの目には、プロとしての自信がみなぎっていた。

▶ブログ：駆け出し料理研究家の「体と心にやさしい料理」

<http://riezon.cocolog-nifty.com/>

ふるさと写真館

龍野隆彦氏 (60期) 写真集より



子檀嶺岳 (こまゆみだけ)



白い貴婦人 浅間山